

R6長崎県子どもアンケート結果



長崎県こども政策局
長崎県教育庁



アンケート実施概要

調査期間：令和6年7月10日（水）～7月31日（水）

調査対象：長崎県内の小学校（5～6年）、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校（小学部5年生以上）に在学する児童生徒

調査目的：こども基本法第11条の趣旨を踏まえ、本県のこどもたちから直接意見を聞くことで、意見表明の機会を確保するとともに、こどもたちの状況やニーズを的確に把握し、より実効性のあるこども関連施策の企画・立案等に繋げること

調査方法：WEB（Microsoft Forms）による回答

回答数：19,341名

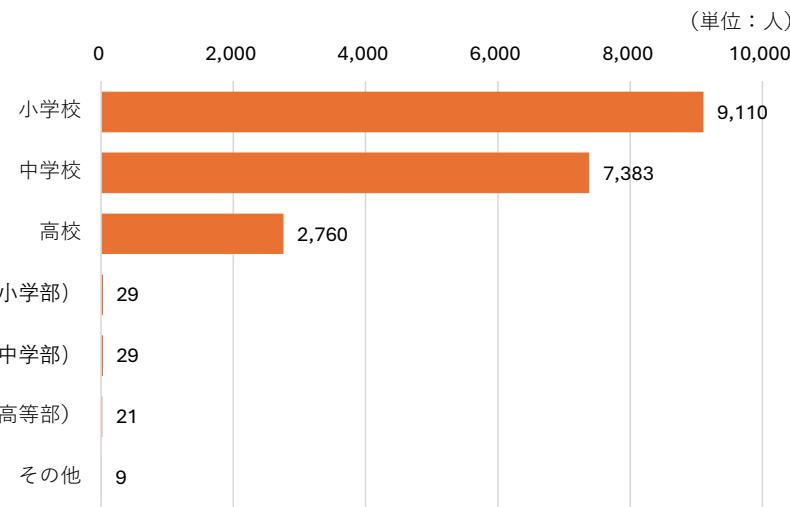
アンケート設問

1. どの学校に通っていますか？
2. 通っている学校は公立ですか、私立ですか？
3. どこの地域に住んでいますか？
4. 今、自分は幸せだと思いますか？
5. 今の自分が好きですか？
6. 興味・関心があり学びたいことはどんなことですか？<総合的な学習（探究）で取り組みたいことなど>
7. より良い学校・教育のために何が必要だと思いますか？
8. 自分の将来について明るい希望を持っていますか？
9. 将来、就きたい職業は何ですか？
10. :生活の中で困っていること、心配に感じる事はどんなことですか？
11. あなたの家族は、あなたと向き合う時間を十分にとってくれますか？
12. 困ったときに相談できる人がいますか？
13. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所が身近にありますか。
14. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所として、あれば利用したいと思うのはどんなところですか。
15. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所で、あなたは何ができるとうれしいですか？
16. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所を利用したことがないという方にお聞きします。（利用したことがあるという方は回答不要です）そのような場所を利用したことのない理由は何ですか。
17. これからも長崎県に住み続けたいと思いますか？
18. 将来、住む場所を選ぶ上で、特に大事にしたいことは何ですか？
19. あなたは長崎県の良さはどんなところだと思いますか？

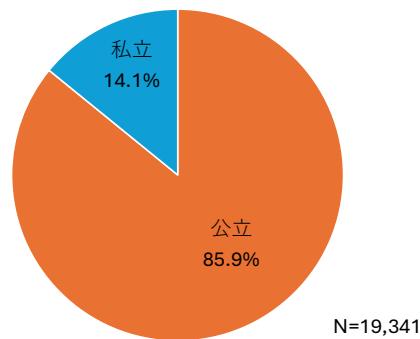
【自由記述】

県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あつたらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。

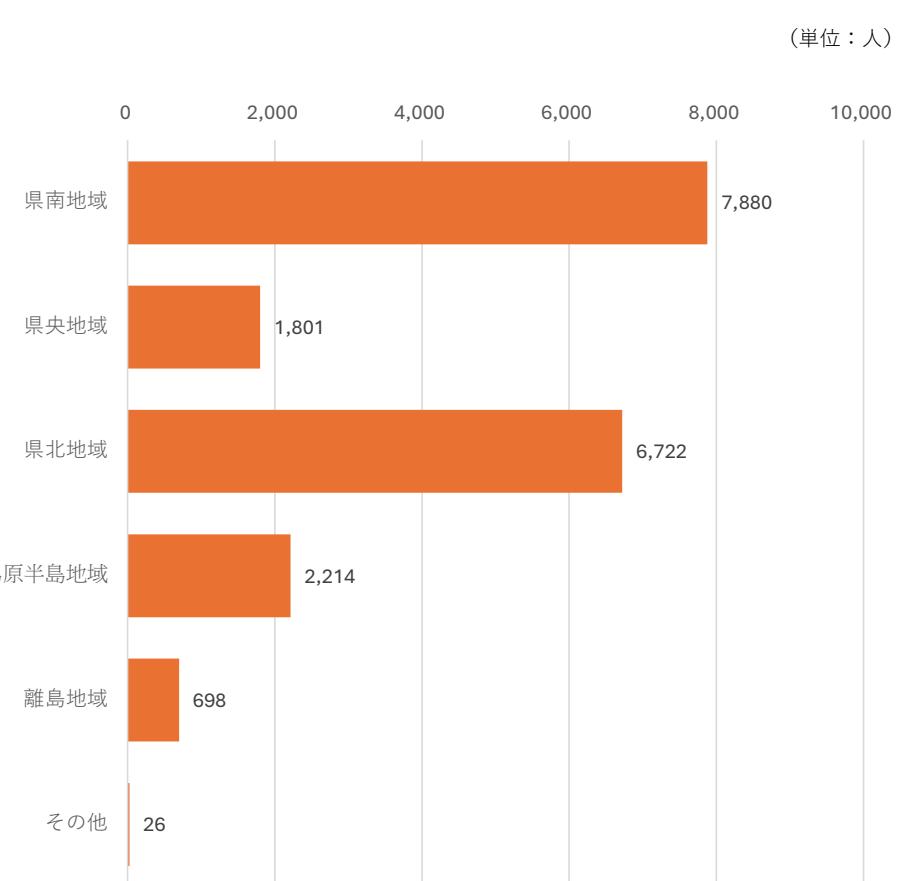
I. どの学校に通っていますか？



2. 通っている学校は公立ですか、私立ですか？



3. どこの地域に住んでいますか？



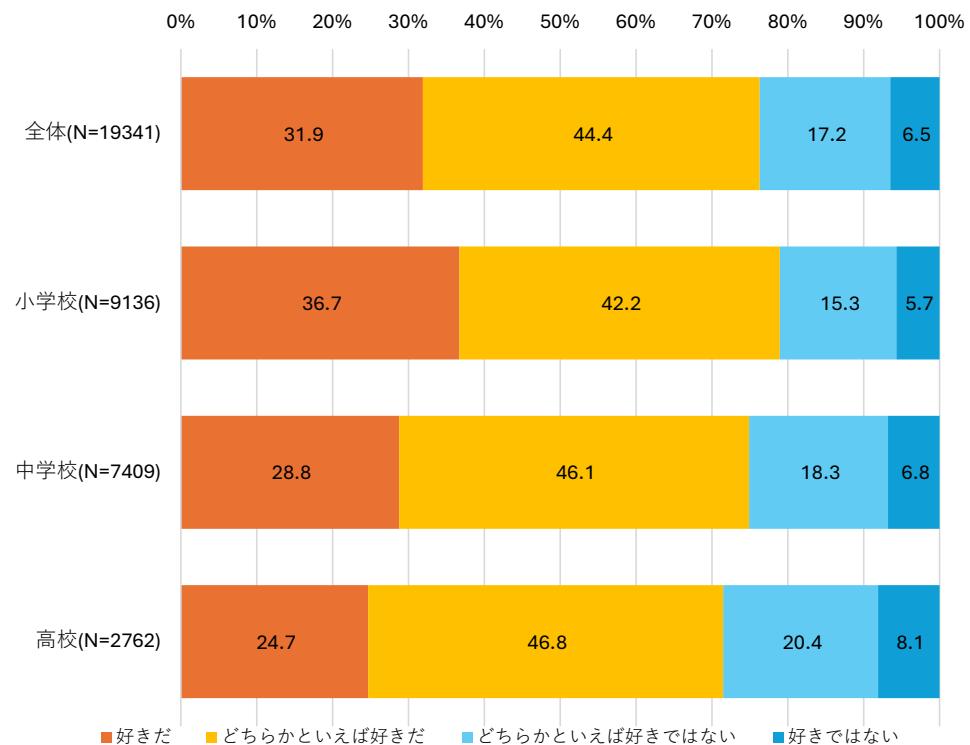
4. 今、自分は幸せだと思いますか? (*いずれか1つ)



※全体回答数 (N = 19341) と校種別回答数の合計 (N = 19307) の差は県外居住、居住地不明及び保護者等の回答を除いたことによるもの。設問5以降についても同じ

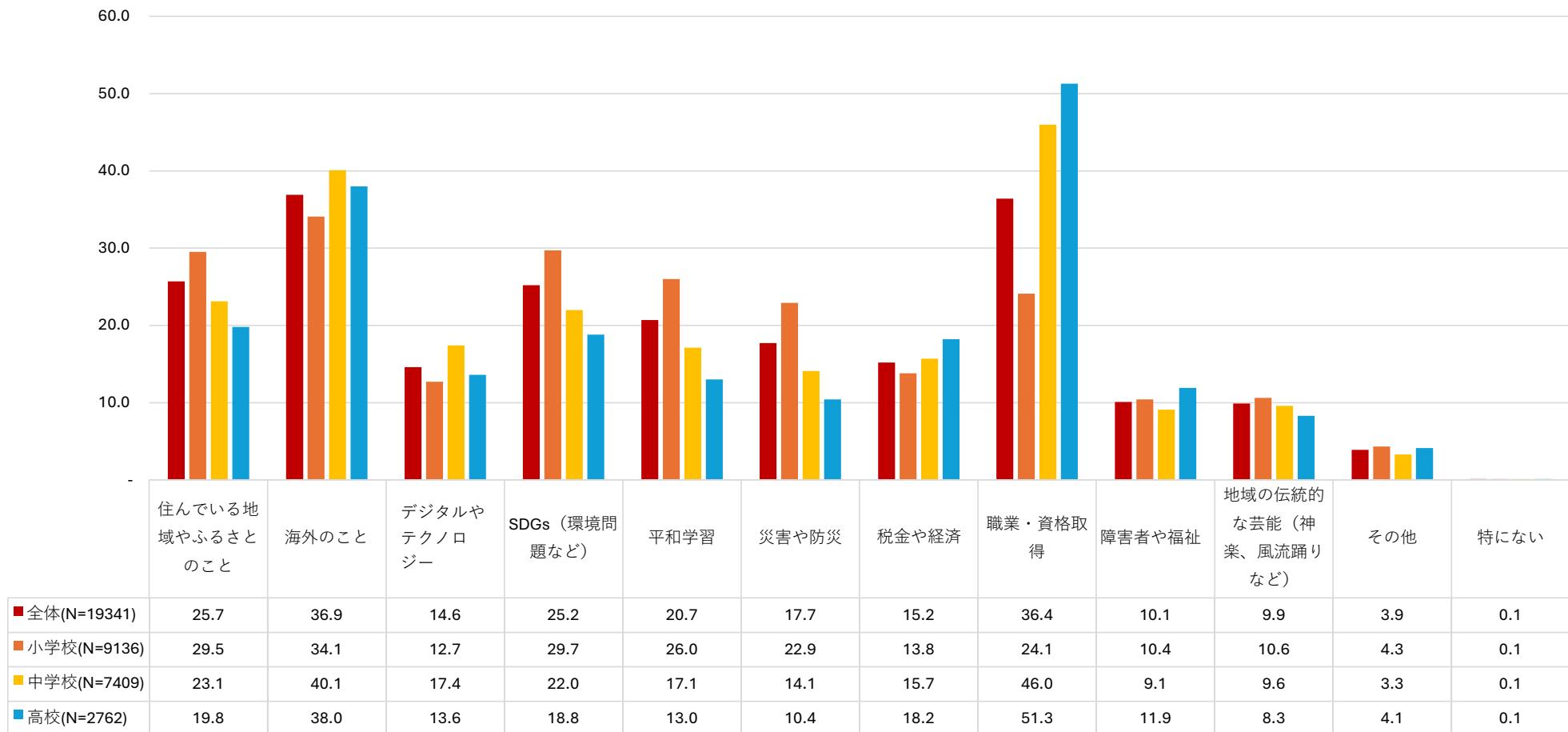
- 小学生、中学生、高校生ともに、「そう思う」が最も多く、半数以上となっている。
- 年齢が上がるにつれて「そう思う」が少なく、「どちらかといえばそう思う」が多い。
- 国の調査における同年代の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合と比較して、本県の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は、特に高校生の年代において高くなっている。

5. 今の自分が好きですか? (*いずれか1つ)



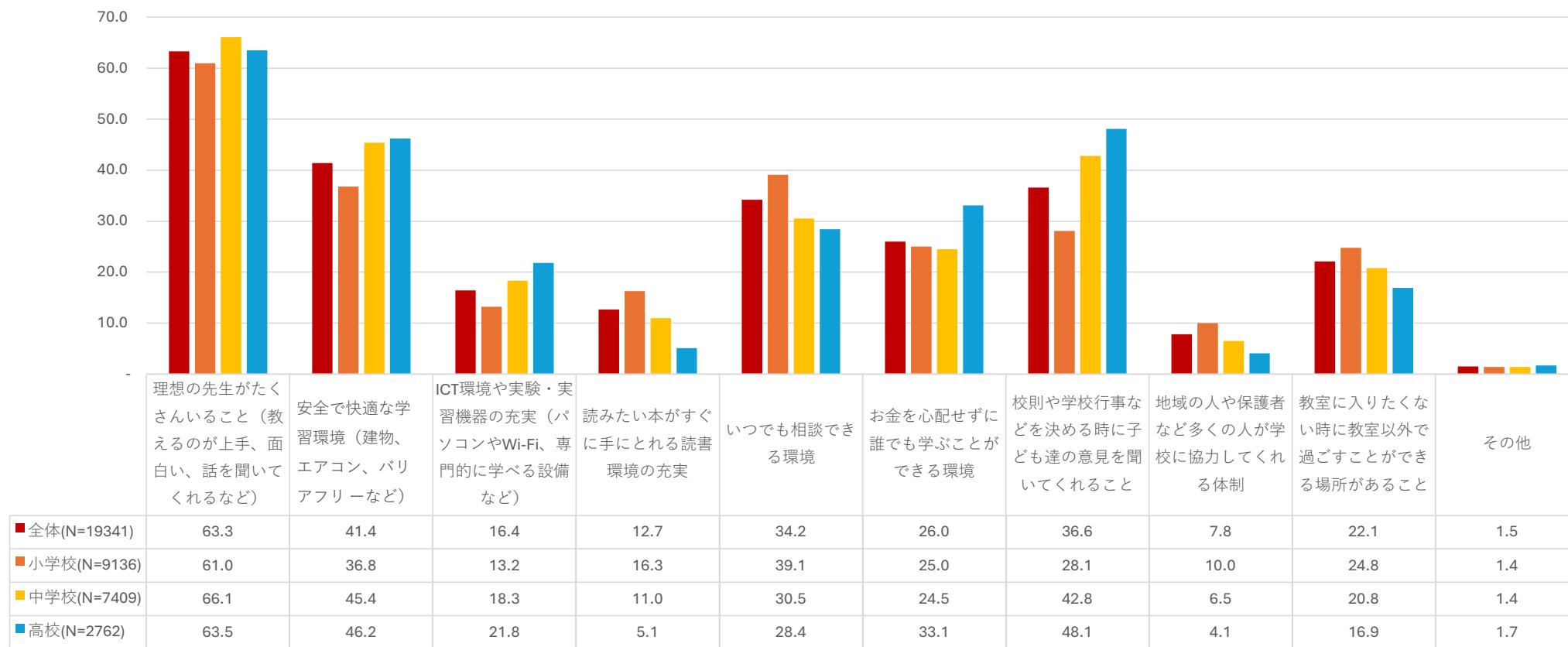
- 小学生、中学生、高校生ともに、「どちらかといえば好きだ」が最も多い。
- 年齢が上がるにつれて「好きだ」が少なく、「どちらかといえば好きではない」「好きではない」が多い。
- 国の調査における同年代の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合と比較して、本県の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は、特に高校生の年代において高くなっている。

6. 興味・関心があり学びたいことはどんなことですか?(*最大3つまで)



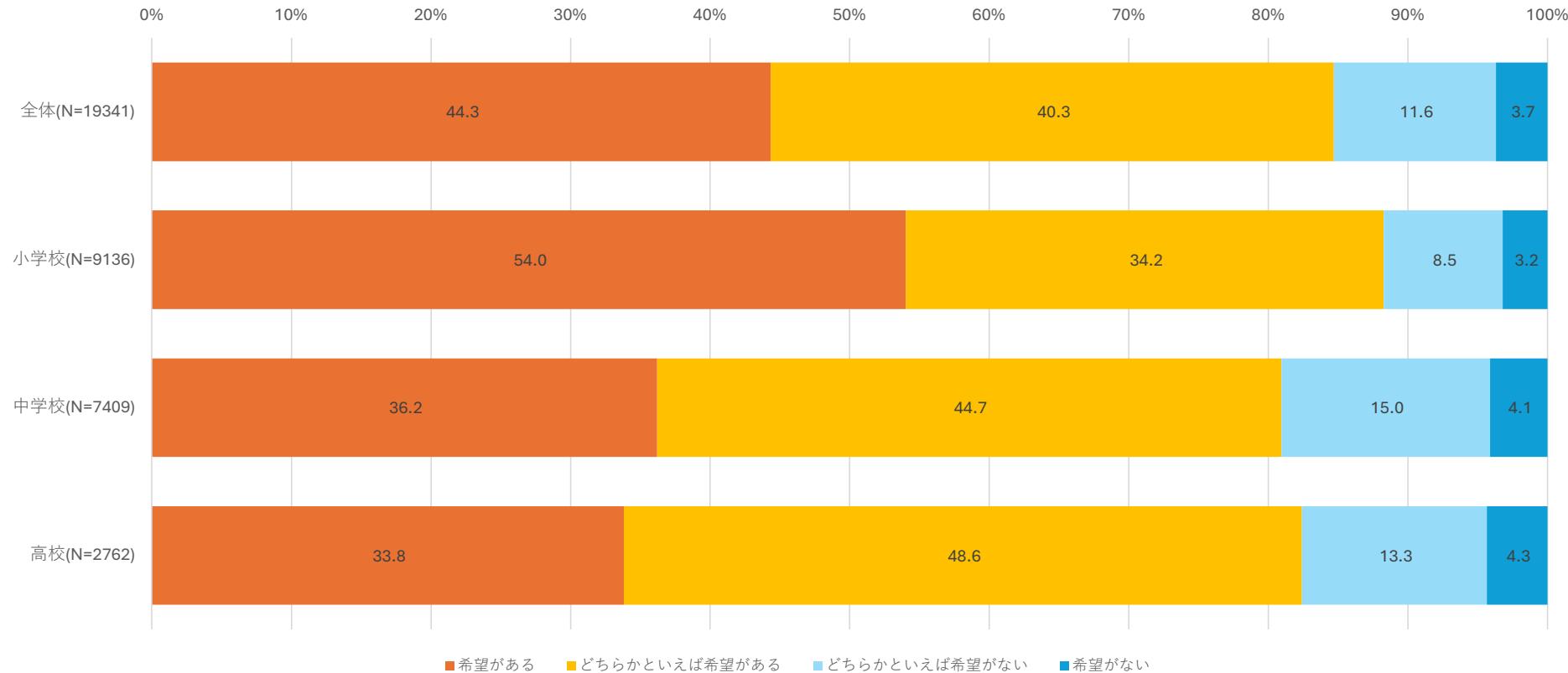
- 小学生は「海外のこと」への興味関心が最も高い。
- 中学生、高校生は「職業・資格取得」が最も多く、「海外のこと」が続いている。
- 「地域の伝統的な芸能」は小学生、中学生、高校生の全てで関心が低い。また、「住んでいる地域やふるさとのこと」は成長とともに低くなっている。

7. より良い学校・教育のために何が必要だと思いますか? (*最大3つまで)



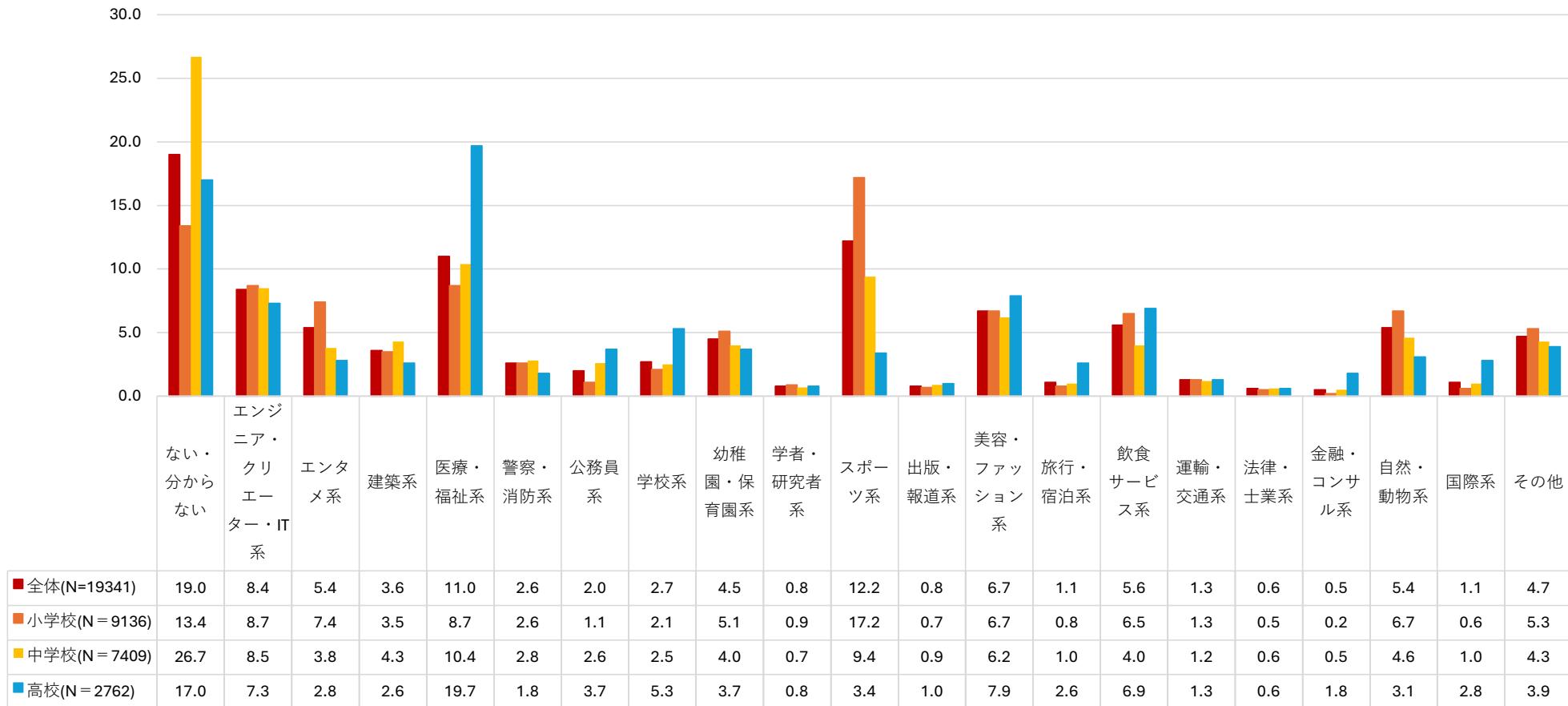
- ・ 小学生、中学生、高校生ともに「理想の先生がたくさんいること」が最も多い。
- ・ 小学生は「いつでもスクールカウンセラーなどに相談できる環境」が中学生、高校生と比較して多い。
- ・ 中学生、高校生は「校則や学校行事などを決める時に子ども達の意見を聞いてくれること」が小学生と比較して多い。

8. 自分の将来について明るい希望を持っていますか? (*いずれか一つ)



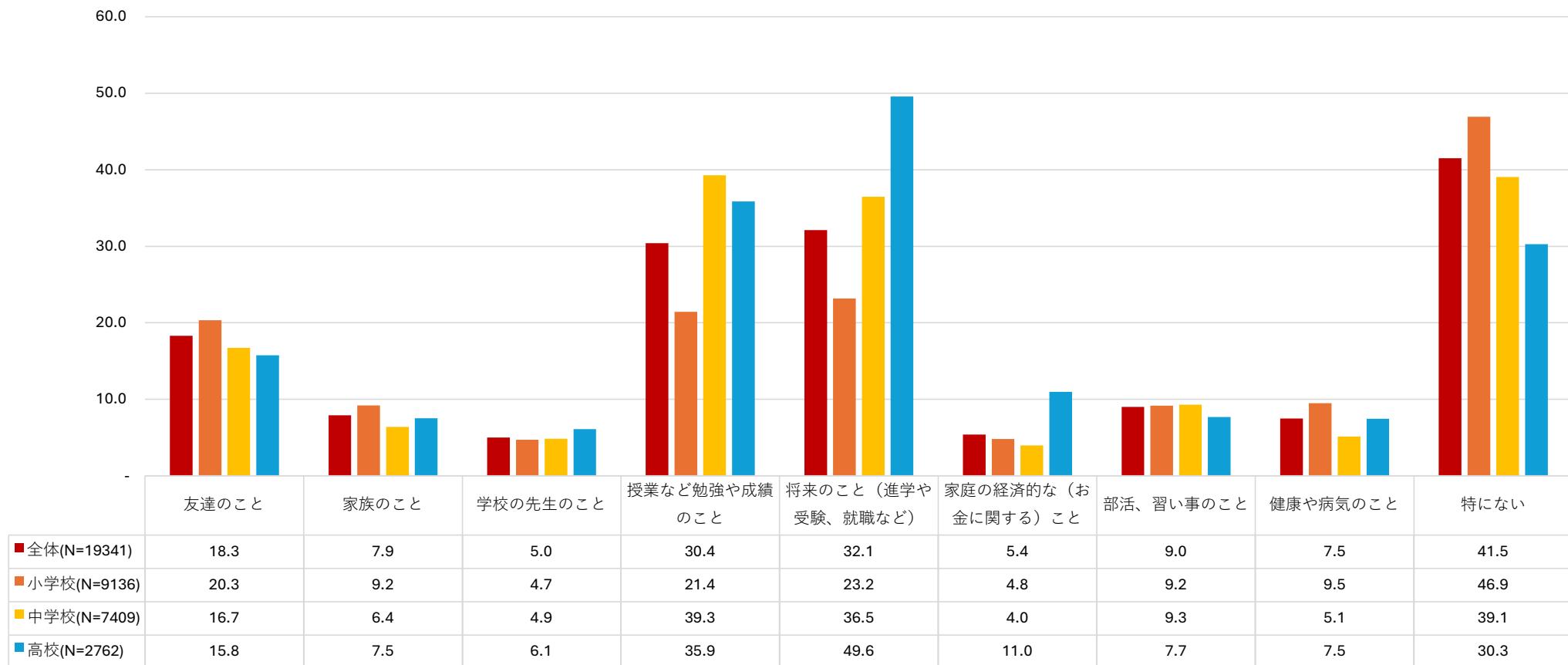
- 小学生は「希望がある」が最も多く、過半数を超えている。
- 中学生、高校生は「どちらかといえば希望がある」が最も多い。
- 国調査における同年代の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合と比較して、本県の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は、全体的に高くなっている。

9. 将来、就きたい職業は何ですか? (*いずれか1つ)



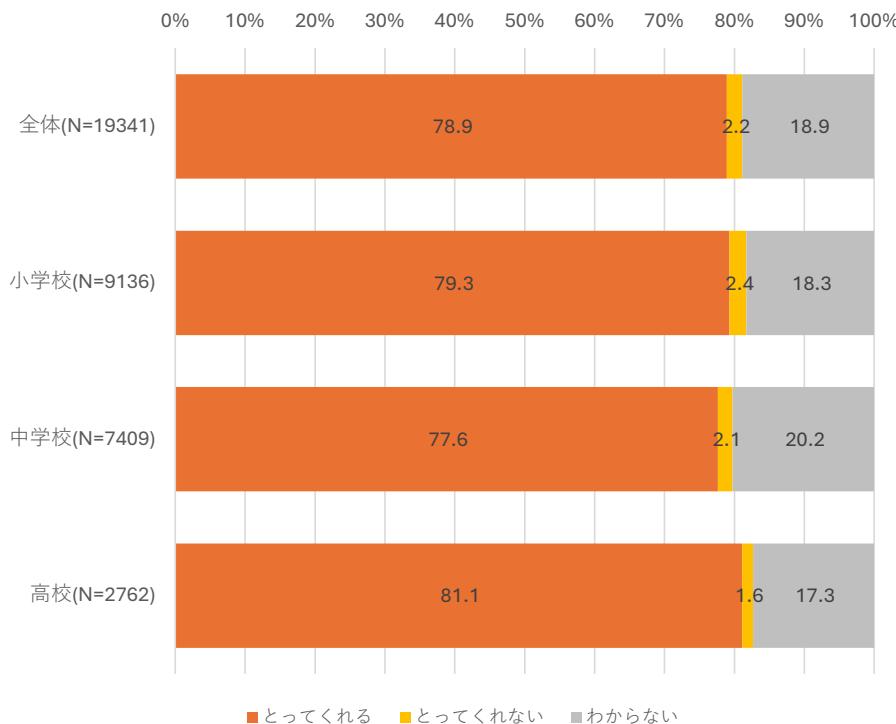
- ・全校種の平均では「ない・分からぬ」が最も多く、特に、中学生で突出している。
- ・医療・福祉系、スポーツ系の回答が突出している。
- ・医療・福祉系は高校生の回答が突出して多い。
- ・スポーツ系は校種が上がるに従い減少し、高校生で大幅に減少している。

10. 生活の中で困っていること、心配に感じる事はどんなことですか? (*あてはまるものすべて)



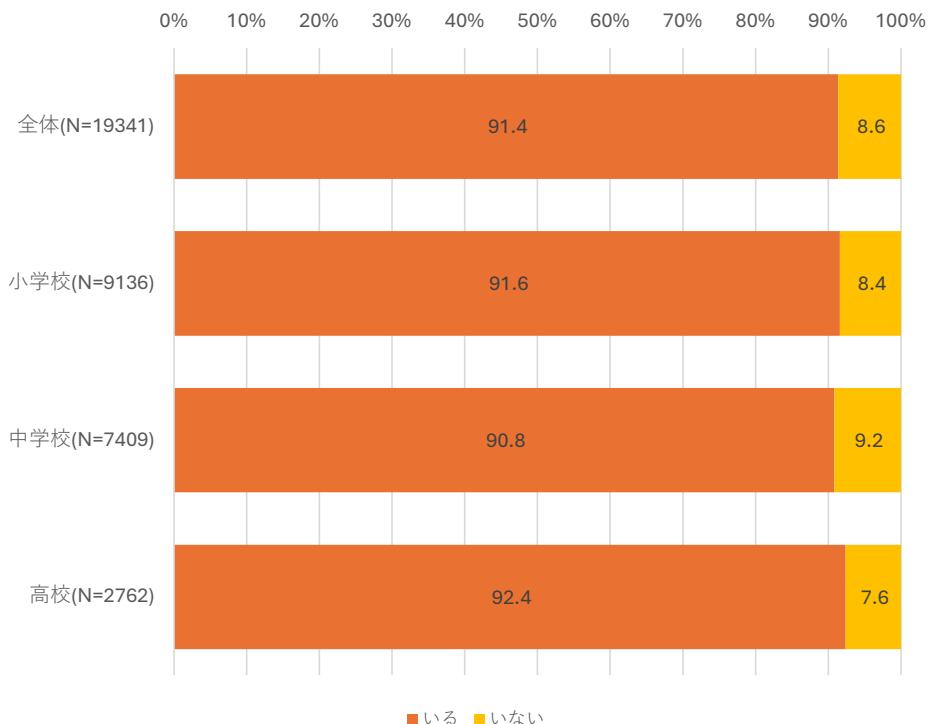
- ・ 全体的に「将来のこと (進学や受験、就職など)」を心配に感じる割合が多く、校種が上がるほど回答の割合も増加している。
- ・ 中学生は「授業など勉強や成績のこと」が最も多くなっており、高校生と比較しても回答の割合が多い。
- ・ 家庭の経済的な (お金に関する) ことは高校生が突出して多い。

11. あなたの家族は、あなたと向き合う時間を十分にとってくれますか?
(*いずれか1つ)



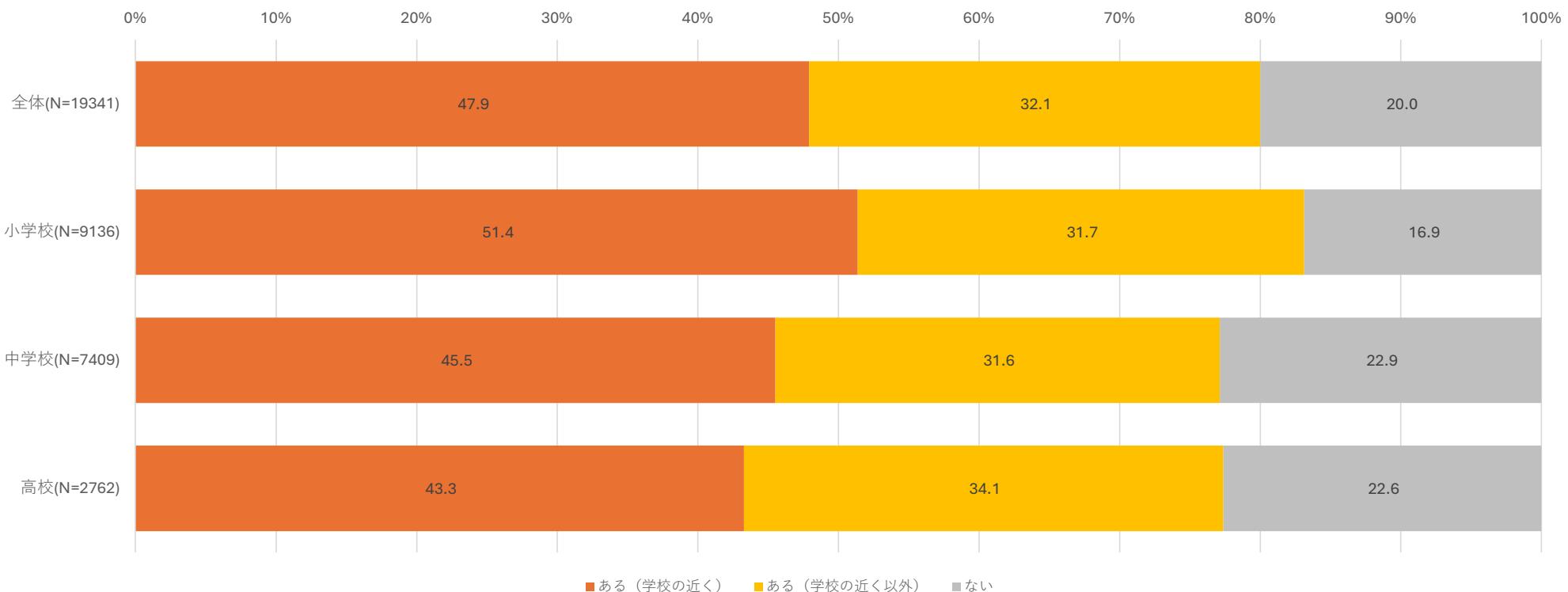
- 小学生、中学生、高校生ともに、「とてくれる」が最も多く、全体で8割弱となっている。

12. 困ったときに相談できる人がいますか? (*いずれか1つ)



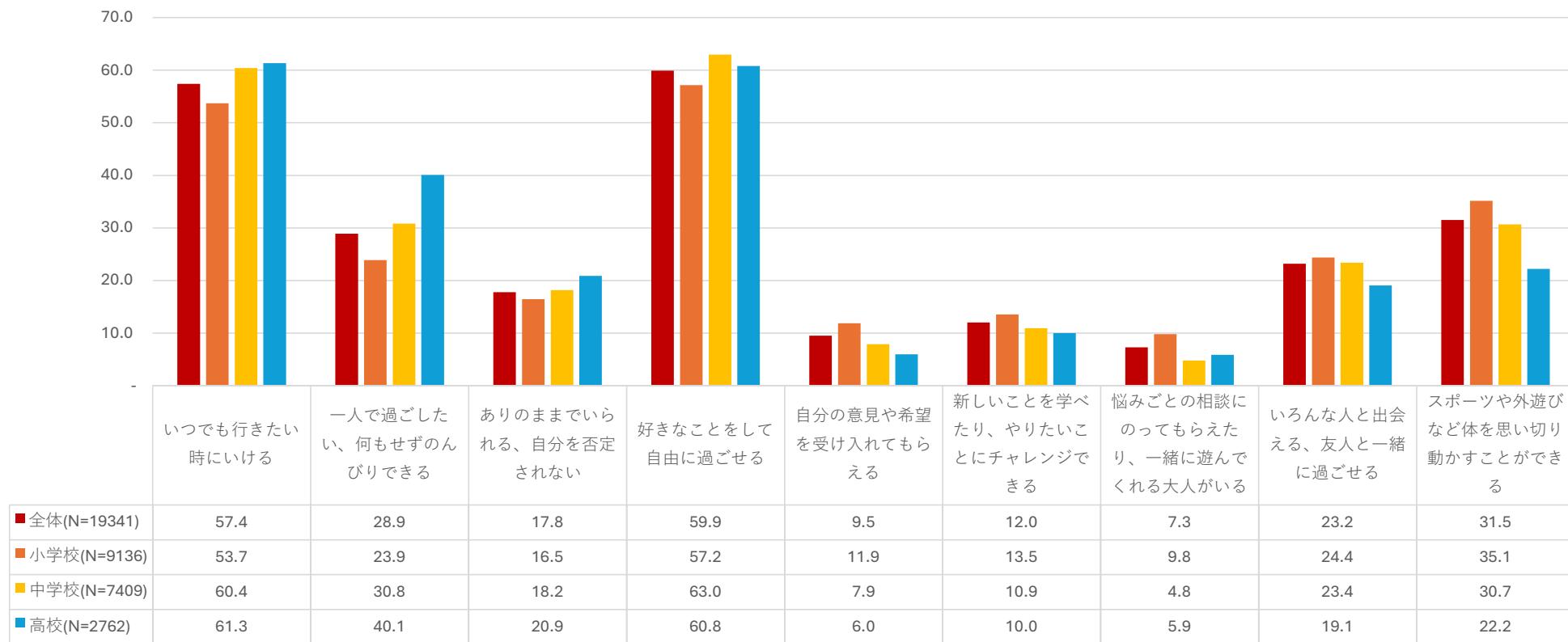
- 小学生、中学生、高校生ともに、「いる」が9割以上となっている。
- 国の調査と比較すると、本県の「いる」という割合は低くなっている。

13. 自宅や学校(授業や部活、クラブ活動)以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所が身边にありますか?(*いずれか一つ)



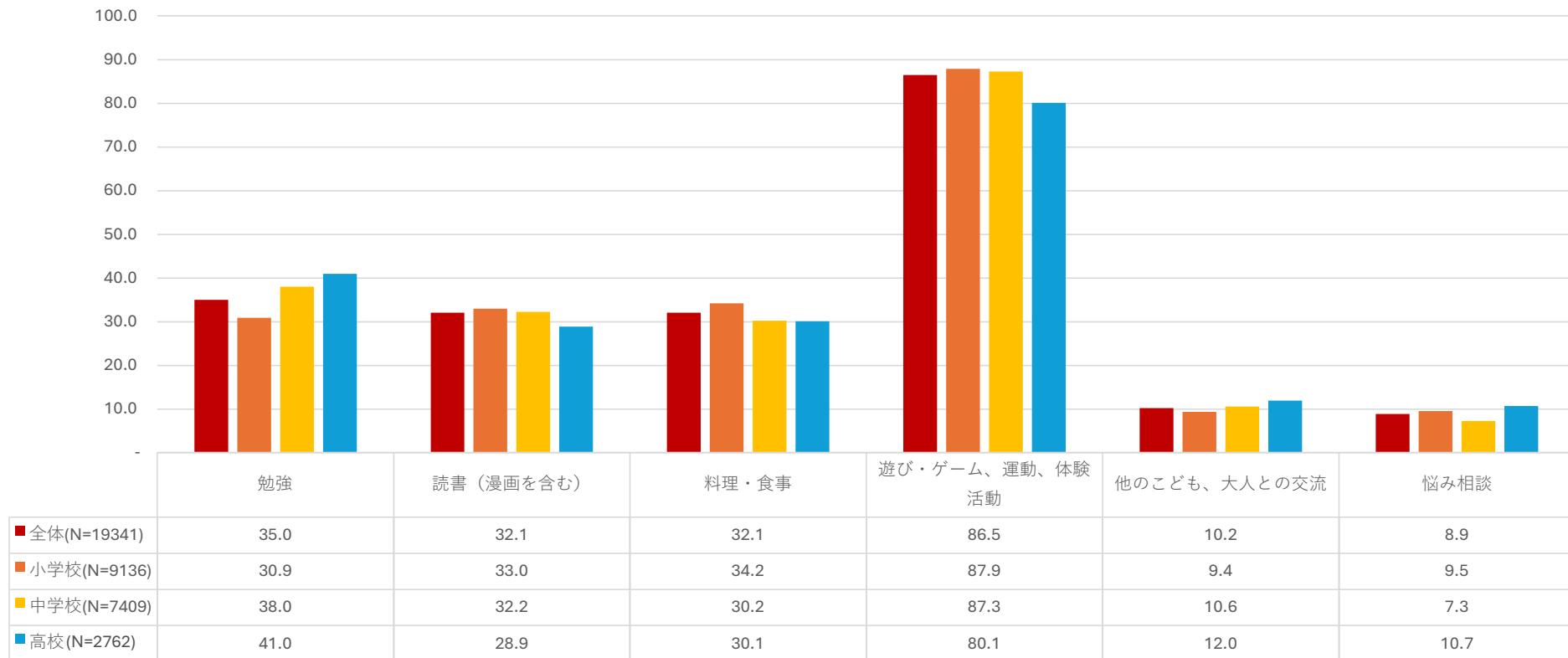
- 小学生、中学生、高校生ともに、「ある(学校の近く)」が最も多い。
- 中学生、高校生は、「ある(学校の近く)」が小学生と比較して少なく、「ない」が多い。

14. 自宅や学校(授業や部活、クラブ活動)以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所として、あれば利用したいと思うのはどんなところですか？(*最大3つまで)



- 小学生、中学生、高校生ともに、「好きなことをして自由に過ごせる」が最も多く、次いで「いつでも行きたいときにいける」が多い。
- 小学生は「スポーツや外遊びなど体を思い切り動かすことができる」が他校種と比較して多い。
- 高校生は「一人で過ごしたい、何もせずのんびりできる」が他校種と比較して多い。

15. 自宅や学校(授業や部活、クラブ活動)以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所で、あなたは何ができるとうれしいですか?(*最大3つまで)



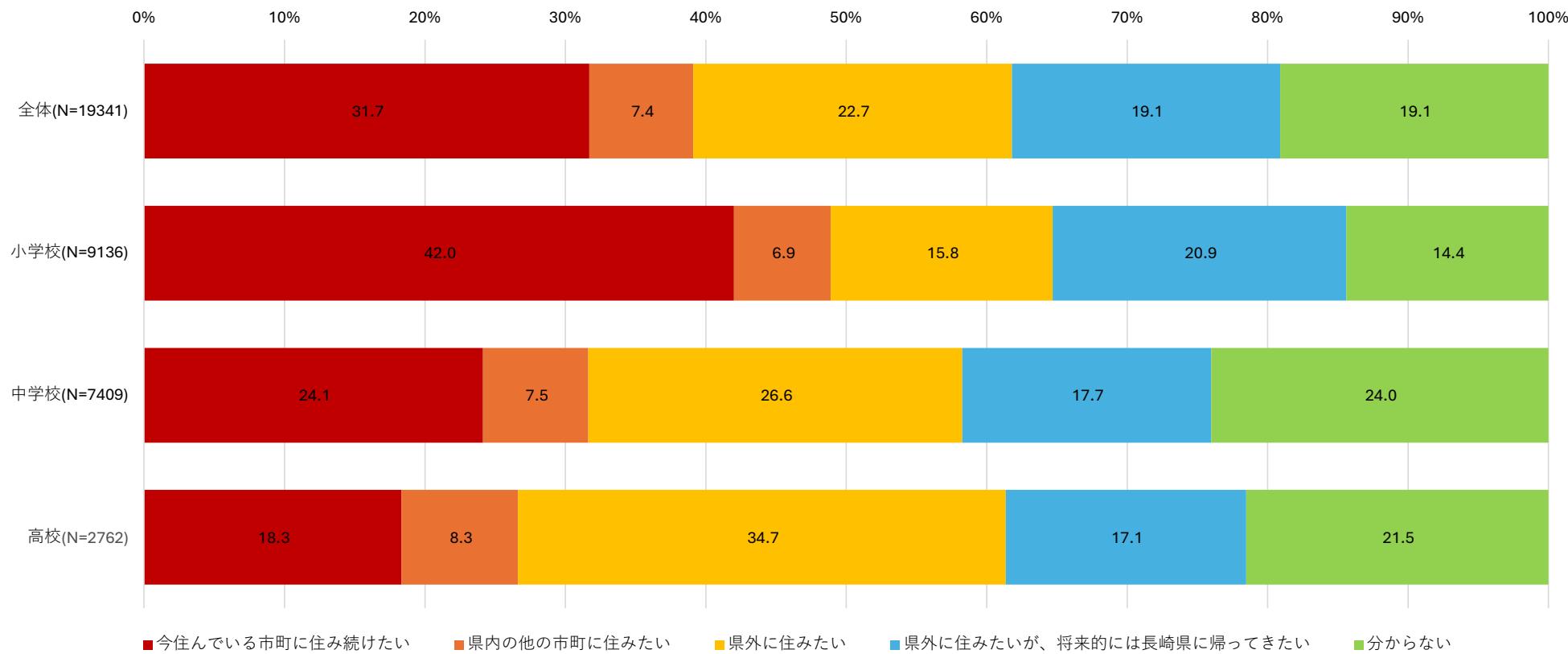
- 小学生、中学生、高校生ともに、「遊び・ゲーム、運動、体験活動」が最も多く、全体で9割弱となっている。

16. 自宅や学校（授業や部活、クラブ活動）以外で、放課後に、自分一人や友達と過ごすことができる場所を利用したことがないという方にお聞きします。
そのような場所を利用したことのない理由は何ですか？（*あてはまるものすべて）



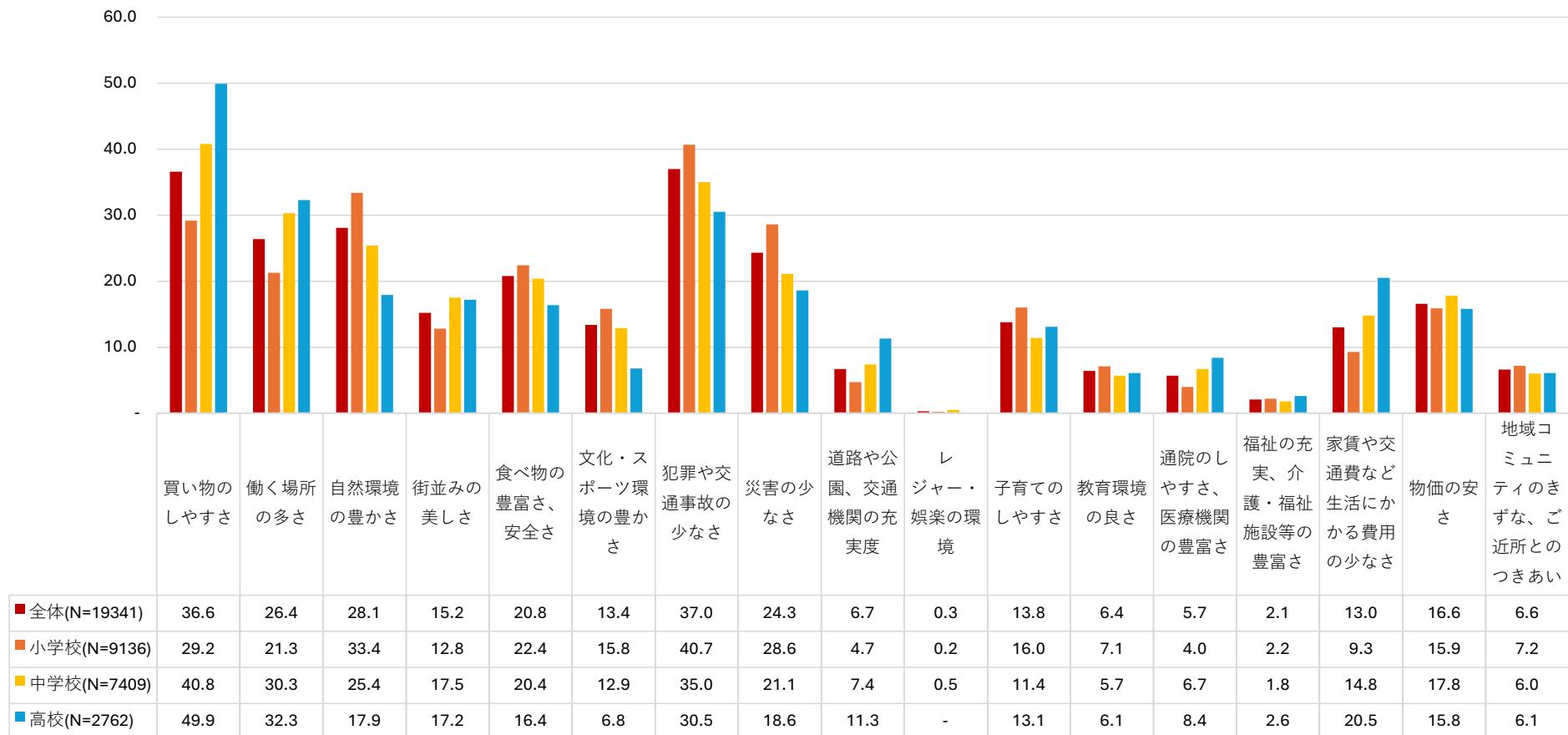
- 小学生、中学生、高校生ともに、「そのような場所があることを知らないから」が最多く、全体で5割以上となっている。

17. これからも長崎県に住み続けたいと思いますか。（*いずれか1つ）



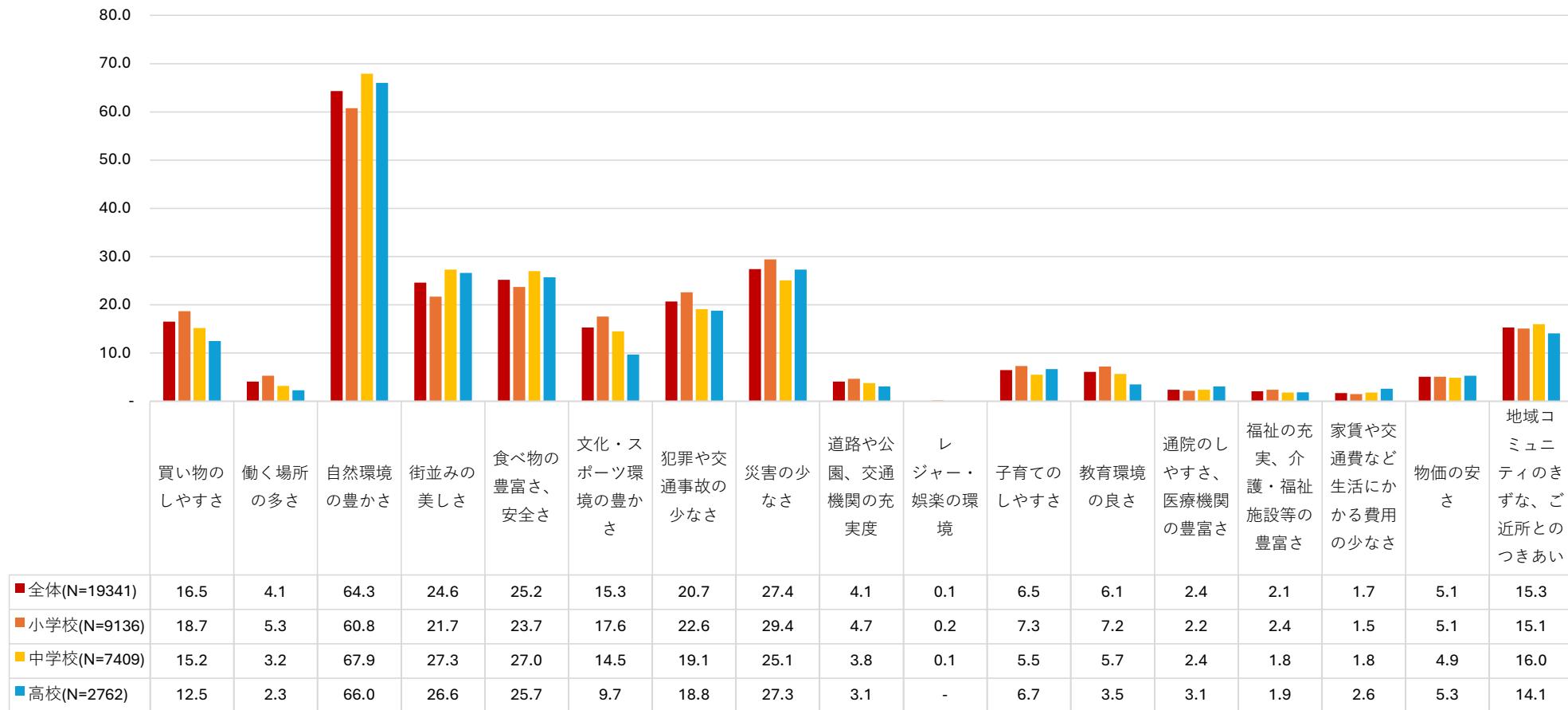
- ・ 県内に住み続けたい（「今住んでいる市町に住み続けたい」、「県内の他の市町に住みたい」）と回答したのは全体の4割弱となっている。
- ・ 校種が上がるにつれ県外居住の志向が高くなっている。
- ・ 小学生は地元への回帰の志向が比較的高くなっている（「県外に住みたいが、将来的には長崎県に帰ってきたい」）。

18. 将来、住む場所を選ぶ上で、特に大事にしたいことは何ですか?(*最大3つまで)



- 「犯罪や交通事故の少なさ」が最も高く、次いで、「買い物のしやすさ」が高くなっている。
- 校種が上がるにつれて安全安心に関する回答が低くなり（「犯罪や交通事故の少なさ」、「災害の少なさ」）、仕事や経済に関する回答が高くなっている（「働く場所の多さ」、「家賃や交通費など生活にかかる費用の少なさ」）。

19. あなたは長崎県の良さはどんなところだと思いますか? (*最大3つまで)



- 小学生、中学生、高校生ともに「自然環境の豊かさ」が最も多い。
- 校種の違いによる回答の偏りは少なくなっている。

【自由記述】

県が目指す「こどもが主役」の社会を実現するためにできたらいい・あつたらいいと思うものや、「こどもが主役」の理想の長崎県（社会）の姿など、自由な意見を聞かせてください。

- ・意見数：10,297件
- ・回答者からの意見を「居場所や遊び場の充実」「子どもの意見の尊重」「安全で快適な環境の整備」「教育環境の充実・改善」「地域の活性化と交流促進」の5区分に分類、類似する意見を要約し主な意見として記載。

1. 居場所や遊び場の充実について

小学生、中学生、高校生ともに意見の多かった区分。自由に過ごせる場所を求める声や、公園や遊園地、商業施設といった遊べる場を求める声、体を動かせる、ボールを使える等様々な遊びができる場を求める声が多数みられた。

校種	主な意見
小学校	公園や遊園地など、こどもが楽しく遊べる施設が増えてほしい。
	室内アスレチックなど、雨の日でも遊べる施設がほしい。
	ボール遊びやアスレチックができる場所がほしい。
	安心して勉強やおしゃべりができる場所がほしい。
中学校	自由に過ごすことができる場所（遊び場、レジャー施設、遊園地、公園、勉強の場）がほしい。
	室内でスポーツをしたり、遊んだりできる場所がほしい。
	こどもが大人の目を気にせず自由に遊べたり色々な職業を体験できる本当の町みたいな場所があつたらいいと思う。
高校	こどもや中高生が気軽に遊べたりして過ごす場所を増やしてほしい。
	こども食堂のように、こどもが自由に利用できる場所を増やしてほしい。
	こどもたちだけでも安全に過ごせる場所づくりが必要。
	遊べる場所がある地域とない地域の格差をなくすことが必要。

2. 子どもの意見の尊重について

意見を言う場や機会を設けてほしい、聞くだけではなく実現までさせてほしいという意見がみられた。
また、具体的な意見を言える場や方法についての提案も複数あった。

校種	主な意見
小学校	子どもの意見を優先し、叶えられるものは叶えてほしい。
	県内各市町から子どもの代表委員を選出し、大人の議会のように子どもが主役の子ども議会があったらいい。
	子どもが堂々と意見を言うことができ、大人は子どもの意見を利用し、より良い地域にするために働きかけてくれる。
中学校	大人の意見だけでなく、子どもの意見も政治や社会に必要としてほしい。
	みんなの意見を否定せず、意見を出し合う会があればよい。
高校	子どもの意見が叶ったり、相談できる目安箱のようなものがあればよい。
	子どもの意見だけでなく、大人の意見も踏まえて考えることでいい街になる。
	子どもの意見を大人がすぐに否定することなく、しっかり聴き、子どもがやりたいことを実現していく。
	子どもが政治に関する興味関心が必要。

3. 安全で快適な環境の整備について

犯罪、災害、交通事故のない安全な社会、差別のない社会にしたいという意見や子育て支援、公共交通機関の運賃など経済的な支援を充実させてほしいという意見がみられた。

校種	主な意見
小学校	大人が見守り、犯罪、災害、交通事故がなく、子どもが安全に、安心して過ごすことができる環境にする。
	子どもが自由に遊んだり、生活しやすい、きれいな環境にする。
	差別をなくしたい。
	お年寄りや障害がある人が快適に過ごせる施設などがあるといい。
中学校	犯罪が少なく、不審者が絶対にいない、安心安全なまちにしたい。
	災害に強い建物、被災しても生活インフラや物資がすべて揃っている施設が多くあり、災害対策を学ぶ場所が必要。
	公共交通機関の運賃を安くしたり、子どもの医療費・学費の無償化を実現してほしい。
	少子高齢化対策として、子どもが産まれた家庭への給付金や、子育て支援の強化をしてほしい。
高校	無料で利用できる施設を増やしてほしい。
	不登校の子どもへのスポーツの支援や環境を充実させてほしい。
	給食費を無償化していくことよりも夏休みを短くして食べられない子どもがない世の中にしていってほしい。

4. 教育環境の充実・改善について

勉強ができる場所を増やしてほしいという声や学費免除・奨学金の充実など経済的支援に関する声がみられた。
また、中学生・高校生では職場体験や進路の相談ができる場を求める声がみられた。

校種	主な意見
小学校	学校や教育現場の整備をして、古くからある学校を残していく。
	校則が自由な学校がほしい。
	PCを使った活動や部活を増やしてほしい。
	学校で子供が楽しく遊べるように子どもの意見などで遊び道具を準備する。
	塾などに行かなくても、すべての子ども達が教育や学校の課題ができるような施設ができたらいい。
中学校	子どもが自由に学びたいことを自由に決めて学べると良い。
	職場体験学習などの場を増やしていく。
	奨学金手当の充実や高校のお金援助を増やしてほしい。
高校	職業体験などの将来のイメージを持つためのイベントをもっと積極的に宣伝してほしい。
	学生が自宅以外で勉強できる（一人でも利用できる）場所や進路相談を詳しく気軽にできる場所を増やしてほしい。
	第2子以降は県内の学校の学費を無償化する制度があつたらいい。

5. 地域の活性化と交流促進について

地域の人や年代の異なる人との交流や国際交流を求める声がみられた。
また、中学生・高校生では地域を盛り上げるための活性化案も複数みられた。

校種	主な意見
小学校	地域の人や大人とコミュニケーションが取れたり、たくさんの人と触れ合える場所や機会を増やしてほしい。 もっと地域活動を行っていくべきだ。
中学校	もっと観光客やみんなが楽しめる場所を増やしたり長崎に来る機会を増やす。 小中学生における、姉妹都市などへの海外交流（ホームステイ）の拡充。
高校	いろんなことを学べる場所や交流の場を増やしてほしい。 子どもが主役ということはその地域を愛してくれることが一番だと思う。 地域社会に対する子どもの関心を高める場を設けたり、地域のこどもたちをボランティア活動に積極的に参加させる。 長崎県版のキッザニアみたいなのをつくって長崎ならではの職業とか地域産業に触れ合える機会を増やす。 シャッター街を利用して、若者が集まりそうなお店を出店して、もっと活気のあるものにすれば良い。 いつかは海外に住みたいので、外国人と多く関わる場所があったらいい。

アンケートへのご協力ありがとうございました。
みなさんからいただいたご意見やご提案は広く共有し、これから長崎県がより良いものとなるよう、子どもに関連する取組などに活かしていきます。